

かわねほんちょう 議会だより

第74号

令和6年5月発行

発行 / 川根本町議会
編集 / 議会広報委員会

川根本町立光の森学園開校式



4月10日 光の森学園開校式

川根本町立三ツ星学園開校式



4月11日 三ツ星学園開校式

令和6年度の当初予算編成の3本柱… 2～3
予算審査…………… 4～5
第二常任委員会審査報告…………… 6
賛否が分かれた議案…………… 7
議会が特に注目している4つのこと… 8～9

議員 町政を問う…………… 10～15
あの質問どうなってるダヤ…………… 16
皆さんの声を議会へ
町議会の活動について 川根本町議会
編集後記



一般会計予算（前年度比9.4%減）
63億8,900万円
 （特別会計・企業会計別掲）

令和6年度当初予算は、昨年度に続き「主要産業の活性化」「安心・安全な生活基盤」「定住・移住の促進」の3本柱で編成されています。本年度は「人口減少・少子化対策」「デジタル化・脱炭素」に対応するための新規事業が増えました。一般会計・特別会計・企業会計の予算は、3月22日に可決しました。

安心・安全な生活基盤

安心・安全な暮らし

- し尿等中継槽建設事業
（測量等） 8,024万6千円
- 下泉下長尾簡易水道施設整備計画 1,100万円
- 斎場建設事業
（実施設計・中川根斎場解体、用地購入等） 1億312万円
- 社会福祉協議会事業費補助金
（法人運営分・社会福祉事業） 4,730万9千円
- 地域医療機関医療機器購入事業 1,185万9千円
- 元北小学校解体事業 1億527万円
- 教職員住宅解体 3,520万円
- オンライン健康医療相談事業
（産婦人科・小児科24時間相談サービス） 126万8千円
- 訪問看護訪問活動車購入事業
（軽乗用電気自動車） 295万3千円
- 電子決済システム構築業務委託
（行政事務の効率化、事務コスト削減⇒文書管理） 640万2千円

- 戸籍の標準化（クラウド）に伴うシステム改修事業
（国の標準化基準に適用） 987万3千円
- テレビ窓口システム導入事業
（総合支所で町民が本庁の担当者として手元カメラで書類確認が可能に） 96万6千円
- 新スマート物流実装事業
（交通・買い物問題や物流問題の解決に向け、ドローン配送事業等ビジネスモデルの構築R6～8の3ヶ年） 1億円
- シニア世代スマホ購入費補助金
（65歳以上、上限1万円） 54万円
- 地域公共交通計画策定業務委託
（現状整理・ニーズ調査・課題整理・計画（案）の策定・パブコメ実施・2ヶ年計画） 788万2千円



2台購入するドローン
荷物重量5kgまで、配送距離半径10km

定住・移住の促進

- 移住ポータルサイト「移住ナビ」刷新事業 366万5千円
- 親子里山留学 4万8千円
- 定住移住関連補助金
（10事業） 3,406万5千円

特色ある教育

- 地域クラブ活動運営事業
（中学校部活動の地域クラブへ移行、事務職員・部活指導員の報酬等） 460万2千円
- スクールバス運行管理業務 6,156万4千円
- ICT教育推進事業 4,654万5千円
- 奥流・よすが苑・南麓寮運営管理事業
（川根高校生寮） 1億1,303万3千円
- 公営塾指導管理業務委託事業 3,141万3千円
- 中学生・高校生海外研修事業
（カナダ） 2,698万4千円

一般会計予算 歳入

（単位：千円）

区 分	令和6年度 予算額	令和5年度 予算額	比 較
町 税	1,224,060	1,235,514	△ 11,454
分担金・負担金	8,665	14,062	△ 5,397
使用料・手数料	82,558	84,711	△ 2,153
繰 入 金	844,948	862,517	△ 17,569
繰 越 金	100,000	100,000	0
そ の 他	122,639	78,628	44,011
小 計	2,382,870	2,375,432	7,438
地方交付税	2,330,000	2,300,000	30,000
国庫支出金	365,368	767,521	△ 402,153
県支出金	421,665	418,330	3,335
町 債	520,400	839,900	△ 319,500
そ の 他	368,697	349,817	18,880
小 計	4,006,130	4,675,568	△ 669,438
歳 入 合 計	6,389,000	7,051,000	△ 662,000

一般会計予算 歳出

（単位：千円）

区 分	令和6年度 予算額	令和5年度 予算額	比 較
議 会 費	67,619	66,718	901
総 務 費	1,344,939	1,026,494	318,445
民 生 費	1,301,250	1,247,296	53,954
衛 生 費	775,839	580,254	195,585
労 働 費	1,973	1,845	128
農林水産業費	393,882	505,676	△ 111,794
商 工 費	366,154	370,765	△ 4,611
土 木 費	278,659	432,021	△ 153,362
消 防 費	315,178	296,538	18,640
教 育 費	857,069	1,075,234	△ 218,165
災害復旧費	128,367	890,408	△ 762,041
公 債 費	543,071	542,751	320
予 備 費	15,000	15,000	0
歳 出 合 計	6,389,000	7,051,000	△ 662,000

主要産業の活性化

観光・商工業

- にぎわい創出イベント開催経費補助事業
(補助率2/3、上限100万) **200万円**
- 春夏秋冬 地域活性化事業
(大札山登山客輸送・ゆるキャン△・井川線誘客他) **2,987万9千円**
- 大井川流域地域DMO負担金
(鉄道沿線駅前マルシェ・宿泊クーポン助成・バスツアー助成他) **1,600万円**
- ロケ地マップ作製事業 **330万円**
- 寸又峡プロムナードコース落石対策・天子トンネル改修工事 **2,820万円**
- もりのくに改修工事
(ボイラー取替、コテージLED) **1,957万1千円**
- 音戯の郷運営のあり方検討取り組み体制構築事業
(コンサルタント委託) **555万5千円**
- 南アルプスユネスコエコパーク10周年事業 (各課実施)
- 起業及び事業継続チャレンジ補助金
(起業：補助率1/2 上限100万円) **351万8千円**
- LINE電子クーポン事業
(R7年1月実施) **1,699万5千円**



「対応方針策定案(運営方向性案)の作成」をする音戯の郷

農林業

- 農業振興政策形成業務委託
(荒廃農地・担い手不足等課題解決の企画立案ための委託料) **198万円**
- 有機農業産地づくり支援事業
(担い手育成のための普及啓発・スマート農業機械導入) **613万7千円**
- 茶輸出拡大支援プラットフォーム構築事業
(5市2町連携事業・事業者渡航費用) **50万円**
- 茶製造機械長寿命化緊急対策事業
(製茶機械の修理費を助成) **1,000万円**
- 森林経営管理制度に基づく事業
(簡易水道及び飲料水供給施設水源林：松尾川、平栗、内容：間伐、経路新設、広葉樹植栽他) **3,861万7千円**
- 家具の森づくり事業
(静大農学部から町有林管理について「家具のもりづくり事業」の提案を受け、モデル林の造成と施業モデルの実証を行う) **132万円**
- 有害鳥獣対策事業
(ニホンザル用捕獲網の購入) **210万円**
- 森林環境教育事業
(大札山・静岡大学演習林) **58万4千円**



樹名板設置ツアーで
交流人口やリピーターの拡大を図る

安心・安全な生活基盤

災害復旧・災害対策強化

- 林道坂京河内線改良工事 **803万円**
- 林道平栗線・南赤石線舗装工事 **800万円**
- 元青部小学校周辺土地整備
(バイパス側の窪地用地購入他) **672万6千円**
- 町道下泉河内川線空洞箇所詳細調査
(ボーリング) **400万円**
- 町道長松線・林道水川線路面下空洞調査
(陥没事故防止) **1,100万円**
- 中徳橋・崎平橋橋梁修繕工事 **8,200万円**
- 林道平栗線・藤川線・智者山線災害復旧工事
(台風2号) **1億1,210万円**
- 河川海岸環境整備事業
(梅高地区県公園事業負担金) **1,400万円**
- 空家等除却事業
(5件分) **150万円**
- 耐震性貯水槽設置工事
(久野脇・青部下澤間) **2,086万2千円**
- 情報通信基盤施設無線局修繕事業
(バッテリー・収納ボックス) **342万円**



橋の下部を補修する中徳橋
上長尾⇄田野口

令和6年度 5つの特別会計と公営企業会計

(単位：千円)

特別会計	令和6年度	令和5年度	比較増減
国民健康保険事業	673,000	814,000	△ 141,000
後期高齢者医療事業	149,700	132,500	17,200
介護保険事業	1,413,000	1,315,000	98,000
訪問看護事業	21,800	17,500	4,300
いやしの里診療所事業	51,200	50,300	900
計	2,308,700	2,329,300	△ 20,600

(単位：千円)

		収入	支出
簡易水道事業会計 (公営企業)	収益的収支	163,278	222,468
	資本的収支	103,723	129,404
	計	267,001	351,872

※資本的収支で不足する額は、当年度分消費税資本的収支調整額、及び当年度分損益勘定留保資金で補てんする。

住民全体の福祉を念頭に

予算審査

予算特別委員会は、議長を除く全議員を委員とし、佐々木委員長、中原副委員長を選任、令和6年3月5日から13日の間の6日間で集中して審査を行いました。

最終日に現地調査、その後、委員会採決を行い、一般会計・介護保険事業特別会計予算は、賛否が分かれ、賛成多数で可決。その他の特別会計予算（国民健康保険、後期高齢者医療、訪問介護、いやしの里診療所）と、簡易水道事業予算については、全員賛成で可決されました。



予算特別委員会の審査風景

（質疑応答の抜粋）

一般会計

産業振興課

問 農業振興政策について、耕作が困難な土地は、農地以外に活用していくつもりなのか。

答 農地以外での活用も含めて検討していく。

問 林床植物の活用検討の状況は。

答 ミツマタならば可能性があるので、活用の提案をしていきたい。

会計課

問 公金収納等金融機関手数料について、納付者負担については。

答 行政負担である。

教育総務課

問 川根高校の寮について、生徒が減少傾向にあるので、施設を二カ所にすることは可能か。

答 現実を見ながら対応していきたい。

デジタル推進課

問 新スマート物流実装事業について、社会実装となる4年目以降の町からの支出の見込みは。

答 原則的には支出なしを想定しているが、状況により必要になる可能性はある。

問 （同事業について）今後はもっと広域をカバーできる予定か。

答 今後衛星電波の活用が進めば、もっと広域になっていく。



新スマート物流実証実験の様子
今後三年間をかけて実装していく計画

建設課

問 林道南赤石線の観光シーズンの対応は。

答 入込者の確認を徹底し、安全面に配慮しながら対応する。

問 T O U K A I ー0事業（耐震対策）の実績は。

経営戦略課

問 「にぎわい創出イベント開催補助事業」の申請者は町民に限るか。

答 町民を含むグループで可能である。

問 移住コーディネーターの人数は。

健康福祉課

問 社協事務局長職への町からの派遣が終了するのは、問題点の改善がなされたためか。

答 大筋でそのとおりである。今後も事業改善の指導を徹底していく。

観光交流課

問 観光ツアー会社との繋がりを密にして集客に努める必要があるのでは。
答 今後もさらに連携を深めていきたい。

高齢者福祉課

問 外出支援サービス事業の増額要因は。
答 実績を踏まえたものである。新規登録者も増えている。

社会教育課

問 文化会館のイベントが他行事と重ならないように配慮してほしい。
答 各種イベントが重複しない仕組みを設けて対応し始めたところである。

総務課

問 耐震性貯水槽の整備状況は。
答 町内にある水利の348基中144基が令和6年度で耐震化される。

税務住民課

問 「テレビ窓口システム導入事業」について、相談室のような部屋を用意して対応するのか。
答 パーテーションによる区切り等も検討している。移動が少ない対応をしていく。

くらし環境課

問 斎場建設事業において、用地購入の面積は。
答 測量中につき確定ではないが、公簿面積で約1300㎡である。
問 し尿等中継槽建設に合わせて購入する車両の金額が以前の説明より増額されているが、理由は。
答 部品等の値上がり、搬送方法に伴う車両の仕様見直しが理由である。

5つの特別会計予算、簡易水道事業会計予算についても活発な議論が行われた。

現地調査（現場に行つて事業の確認等実施）

光の森学園のものづくり室

桜保育園



解体予定の下長尾教職員住宅

新斎場建設予定地（上長尾）



討 論

（議案第23号）

反対 大竹勝子議員

災害の復旧工事が残っている状況で、高齢者が元気に、子育て世代が安心して暮らせるまちづくりのための予算であると考えられないため。

賛成 中澤莊也議員

町長が予算編成の三本柱に掲げた事業が満遍なく盛り込まれている。財源も、町の実質的な負担が少なくなるように構成されているため。

（議案第26号）

反対 大竹勝子議員

第3段階までの保険料は引き下げられたが、その幅はわずかであり、そもそも非課税世帯に属する者には負担を課すべきではない。

賛成 中澤莊也議員

第9期計画に基づき構成された予算であり、低所得層の負担軽減が講じられているため。

第二常任委員会審査報告

・ 3月13日（水） 審査・可決
・ 3月22日（金） 議会にて可決しました

（議案第3号）

川根本町営残土処理場管理
条例の制定について

（趣旨）

公共工事で発生する建設残土を受け入れる川根本町残土処理場の管理及び運営に
関し必要な事項を定める。

（名称及び位置）

・ 梅地残土処分場
・ 川根本町梅地字上

大割522番5外

（使用料）

・ 1㎡当り1300円

【質疑】 条例の表記に、処分場と処理場という2種類があるのはなぜか。

【答弁】 梅地処分場というのは固有名称であり、一般的表記は、処理場としている。その違いである。

【質疑】 1㎡当り1300円という額は、どのように算出したのか。

【答弁】 これまでの整備費用と将来費用の合計額を、受け入れ可能体積で除して算出した。

【質疑】 近隣の同様施設の使用料額はどの程度か。

【答弁】 民間施設の平均は、2275円、公共施設の平均は1309円である。

【質疑】 梅地処分場の排水機能には問題はないか。

【答弁】 排水施設については、処分場を運営しながら整備していく。

【質疑】 隣接する民家や河川への環境対策は施されているか。

【答弁】 隣接民家への対応としては、埃防止として散水車の配備や敷地の囲いを考えている。

又、当施設は窪地となっており、河川への土

砂流出の危険はなく、河川環境には、影響もないものと考ええる。

【質疑】 部外者の立ち入り等、施設の安全対策は取られているか。

【答弁】 立ち入りを規制するため、将来的には施設敷地をパネルで囲う予定である。

【討論】 なし

採決 起立全員

原案通り可決



梅地処分場

（議案第7号）

川根本町立義務教育学校に伴う関係条例の整備に関する条例について

（趣旨）

・ 義務教育学校開校に伴う関係条例の整備

・ 川根本町立小学校専科担当教員に係る町費負担教員の任用等に関する条例の一部改正

（改正例）

・ 「川根本町立の小学校」を「川根本町立の義務教育学校前期課程」という。

・ 「川根本町立の中学校」を「川根本町立の義務教育学校後期課程」という。

【質疑】 小学校の専科教員とは、具体的にどんな教員なのか。

【答弁】 家庭科等の専門的な教科を担当する教員である。

【質疑】 義務教育学校が開校になると、1つの学校における校長等の配置はどのようなになるのか。

【答弁】 今までの小学校が前期課程、中学校が後期課程であり、1つの学校になることから、校長は1人である。本町の場合、教頭は、各学校2人を予定している。

【討論】 なし

採決 起立全員

原案通り可決



令和6年4月10日 「光の森学園」開校式

教育長任命について議会は不同意

定例会中、3月14日全員協議会で、教育長任命が追加議案として上程された。町長から石原氏任命の提案理由の説明があり、議員が質問した。22日議会最終日、議員から質疑があり答弁があった。その後採決し、賛成4人、反対6人、議会は不同意と決定した。29日、全員協議会で不同意の議員から、理由の説明があった。

※今後、議会は町長から再提案を受ける。

3月14日・全員協議会 ／教育長任命追加議案 ／上程

問議員 県下でも例のない義務教育学校が、4月から始まるこの時に教育長を変える理由は何か。

答町長 石原氏は情熱と愛をもって対応してくれる。教育現場のさらなる進化を求め変える。

3月22日・本会議／同意第2号教育長任命について／質問／採決

問議員 義務教育学校に取組んできた中で、なぜこの時期にトップを変える必要があったのか。

答町長 新しい進化の形で、任命をしたかった。義務教育がスムーズにいくよう人事を提言した。

3月29日・全員協議会 ／反対した理由の説明

答議員 現教育長が新しい学校作りを引っ張って来られた。継続すべきと考えた。

答議員 なぜこのタイミングで変える必要があるのか。町長の答弁も納得できる内容ではなかった。

答議員 教育長は3月14日に追加議案として初めて挙げた。どんな方かもよく知らず、質問できる状況ではなかった。現教育長がずっと義務教育学校開校に向けて努力されてきた実績を考えれば変えるのはおかしいし、教育現場にとって良くない判断した。

答議員 現教育長が継続

賛否が分かれた議案

議案番号	件名	中澤 庄也	中田 隆幸	中野 暉	野口 直次	杉山 広充	大竹 勝子	澤西 省司	中原 緑	藤田 至	中野 浩和	佐々木 直也
議案第10号	川根本町介護保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	○	○
議案第14号	新町建設計画の変更について	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	○	○
議案第19号	令和5年度 川根本町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	○	○
議案第23号	令和6年度 川根本町一般会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	○	○
議案第26号	令和6年度 川根本町介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	○	○
同意第2号	教育長の任命について	×	○	○	○	×	×	×	×	欠	×	○
議案第30号	工事請負契約の締結について(林道西又線災害復旧工事)	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	○	○
議案第31号	工事請負契約の締結について(町道長松線第2号箇所道路災害復旧工事)	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	○	○

※上記以外の議案は全員賛成で可決されました。石山貴美夫議長は、採決に加わりません。欠=欠席

討論

「介護保険条例の一部を改正する条例」

反対 大竹勝子議員

介護保険が、国の制度で、9段階から13段階に分かれ、第3段階までは、保険料額を引き下げられたとはいえ、引き下げは極わずかである。

最高の13段階(年収720万円以上)では、保険料が引き上げられるが、保険料は年収の2.4%におよび生活を圧迫することになる。

賛成 中澤庄也議員

政令の改正に伴う条例の改正内容は、高所得者の標準乗率引き上げと低所得者の標準乗率の引き下げであり、低所得者の保険料上昇の抑制が図られるものである。また、第9期介護保険事業計画に基づく改正分は、介護保険給付費準備基金を有効に活用し、基準保険料の上昇を抑えるなど、介護

保険事業の円滑な運営と持続可能な制度のための必要な改正と考える。

「新町建設計画の変更について」

反対 大竹勝子議員

し尿中継施設は今現在が三津間にある施設を使えなくなるまで使い、わざわざ中継施設を造り、遠い施設まで運ぶことはないため反対する。

賛成 中澤庄也議員

計画変更の目的は、事業について精査を行い、合併特例債を有効に活用することにより、均衡ある発展に資するため計画の一部を変更するものである。変更内容も、「し尿中継施設」の整備や閉校となった小中学校の敷地や校舎を活用した「地域振興、産業の拠点づくり」といった事業の追加やデータの修正、事業の追加による財政計画の修正となっており、必要の計画の変更と認め賛成する。

議会が特に注目している4つのこと

新しい年度になりました。昨年度から引き続き検討していかなければならない課題が
目白押しです。議会の中で慎重審議されている4つの課題について、現在の状況と今後
の見通しをお知らせします。

斎場建設

斎場建設・現中川根斎場の解体、用地購入、中川根斎場内の電柱移設、駐車場整備のため斎場横の茶畑購入を行う。

- ①斎場建設の実施設計 4千300万円
- ②中川根斎場解体 5千万円
- ③駐車場整備をする予定である現中川根斎場横の茶畑購入 350万円
- ④用地購入に伴う補償費、電柱移設に伴う補償費 500万円
- ⑤茶畑及び現中川根斎場横の電柱2本移設 162万円
- 合計 1億312万円

令和6年度及び7年度運用開始までは、本川根斎場を使用する。

【スケジュール】

5年度末までに 基本設計、地質調査、造成設計、解体設計は12月終了予定。

6年4月から実施設計、解体工事、造成工事を行い、12月議会で補正決定予定、その後建設工事、火葬炉工事開始予定、運用開始は7年度終わり頃となっています。供用運用開始以降本川根斎場解体について今後審議します。



駐車場用地として購入予定の茶畑

し尿等中継槽建設

町内の家庭や事業所から発生するし尿や浄化槽汚泥を町外の施設で処理するため、町内に中継槽を建設する。し尿等中継槽を建設するために必要な測量等を行う。

- ①現地測量業務委託 815万1千円
- ②現地ボーリング調査業務委託 390万5千円
- ③残置物撤去業務委託 374万円
- ④中継槽建設工事設計監理委託 495万円
- ⑤運搬車両購入 5千950万円

3月15日地名地区役員会で、し尿等中継槽建設予定地が、承認された。

【スケジュール】

令和6年5月現地測量・ボーリング調査委託入札11月調査完了、12月議会補正予算が議決後建設工事入札、7年12月工事終了。

	R3	R4	R5	R6	R7	R8
振興会との契約		期間満了 期間延長協議	延長契約期間			
中継槽建設地決定		年度内の用地決定				
測量調査・詳細設計業務			入札	完了予定		
建設工事関係				入札	完了予定	
運搬車両購入			入札	納入予定		
外部搬出業務開始						搬出開始



し尿等中継槽建設予定地

大井川鐵道復旧

【大井川鐵道本線の現状】

令和5年10月1日川根温泉笹間渡駅までの20km復旧。不通区間は町営バスで代替。笹間渡駅から千頭駅までの19.5km区間の再開には約22億円（災害復旧に5億円、老朽化対策に17億円）が必要。川根本町では、観光産業に影響が生じている。

【公共交通のあり方検討会の経緯（運行再開について検証）】

第1回 令和5年 3月22日

第2回 令和5年11月29日

第3回 令和6年 3月26日

【課題と取り組み】

①事業継続のあり方

バスとの役割分担地域公共交通の位置づけの検討。

大井川鐵道がもたらす経済波及効果（広域的・限定的）等の検証。

②費用・体制の確保（費用の負担調整、財源確保の為住民を巻き込んだクラウドファンディングや企業版ふるさと納税など利用促進策等の実施等）できるだけ早期に調整。災害復旧、機能回復、防災改良の実施計画の調整。水路・治山災害発生対策の調整。



全線復旧でにぎわいを!!(令和2年10月撮影)

学校施設利活用

令和4年度末で閉校となった「中川根第一小学校」「中川根南部小学校」、令和5年度末に閉校になった「本川根中学校」、平成18年閉校になった「北小学校」の4校の施設の利活用について令和5年2月24日に委員会が設置された。令和5年5月、7月、8月、10月、12月、令和6年2月、7回開催している。その後、第一小学校については3月15日に、徳山、藤川、水川地区への説明会が開かれた。病院を作りたいなどの意見も出された。奥泉の北小学校は解体することが3月に決定。約1億527万円。下長尾の中川根南部小学校は、産業施設(商業・農業の拠点)、徳山の第一小学校は、①人材育成②チャレンジ機会の提供③交流の3つを主として進めていく。地域住民の憩いの場、商業と賑わいの拠点、公共施設の集約の場の方向性が出されている。本川根中学校は未定。



解体予定の旧北小学校

地方公共団体の標準に関する政令の一部を改正する戸籍法に基づく事務に係る規定が、令和6年3月1日から施行されることになった。

本籍地が遠方にある方でも、お住いの市町村や勤務先の最寄りの市町村の役場の窓口において、戸籍謄本を取得することができるようになる。

川根本町手数料
徴収条例の一部を
改正する条例

2月臨時議会で
決まったこと

工事請負契約の締結
町道水川藤川線道路災害復旧工事
町内5事業者により指名競争入札で、契約金額1億4036万円
株式会社 梶山組

1月臨時議会で
決まったこと



三役を中心にした多角的な各課の連携による豊かなまちづくりを

さ さ き な お や
佐々木 直也
議員



島田市との連携にも期待

質問 復旧から復興へ向けての「連携」の体制は。

答え 絶えず声かけをし、さらに整えていきたい。

質問…各課の「連携」について、具体的にはどのような指示を出しているか。

町長…担当課だけで考えるのではなく、違う立場、違う視点からも検討するように指示している。

質問…令和5年度事業で、実際に連携をとった事業はどのようなものがあるか。

町長…大井川鐵道代行バス事業、斎場建設事業、し尿処理施設建設事業、親子里山留学事業、プロスポーツ団体との協定締結事業である。

質問…令和6年度の事業ではどのような連携をとる予定か。

町長…春夏秋冬地域活性化事業、南アルプスユネスコエコパーク登録10周年記念事業などである。

質問…「連携」において重要な役割が三役（町長、

副町長、教育長）であると思うが、町長はどのように職員、課長に働きかけをしているか。

町長…絶えず顔を合わせることが大事だと思うので、課長や職員に声をかけるようにしている。

質問…課長会議の趣旨は、総務課長…全課長間での情報共有である。

質問…情報共有だけだと「連携」には至らず「連絡」にすぎないのではないか。

総務課長…各事業については、関係する課長が別の形で話をしている。

質問…令和6年度の観光協会との連携の体制は、観光交流課長…情報共有

だけでなく、協議の場を密にして意見を出し合い、内容を充実させたい。

質問…島田市観光協会との連携の体制は。

観光交流課長…お互いの

地域の良さを理解し合う取組を進めている。それぞれにメリットがある体制にむけて一層協議を進めていきたい。

質問…指定管理施設について、担当課以外の視点を考える。

観光交流課長…必要に応じて幅を広げることも考える。

質問…商工会との連携において、リアルな情報を共有し、状況に応じて正しい情報発信をすることが町民の不安解消につながると考えるがいかがか。

産業振興課長…それも踏まえて連携を進める。

質問…町・県職員の関係性の構築はできているか。

副町長…例えば、デジタル関係や、男女共同参画において密な関係を築く取組をしている。



なか ざわ そう や
中澤 荘也
議員



弱者にも優しいユニバーサルデザイン



指定管理者による管理運営が行われているウッドハウスおろくぼ

質問 指定管理者の指定には、有識者等の声も必要

答え 必要な場合には、有識者等の意見も聞く

質問：ウッドハウスおろくぼ等の管理運営を引き

続き指定管理者に行わせる考えか。

町長：民間事業者が持つノウハウを活用することが有効と考えた場合は、指定管理者制度を活用したいと考えている。

質問：指定管理指名委員会に学識経験者や雇用に

労働等の有識者等をメンバーに加える考えはないか。

町長：審査の過程において有識者等の意見を聴取する必要があると判断した場合には、規定に基づき対応していく。

質問：10万円以上の施設改修費等の負担を指定管理者にも求めるべきであ

る。町の考えを伺う。

質問 ユニバーサルデザイン化の推進は

答え 公共施設等の整備には、積極的に導入する

質問：公共施設等のユニバーサルデザイン化をどのように進めていく考えであるか。

町長：公共施設等を整備するには、年齢・障害の有無、性別等に関係なく利用できるようユニバーサルデザイン化に配慮してきている。また、個人の所有する住宅を改修す

る際には、手すりの設置やトイレの改修を対象に含めた住宅改修事業補助金の制度を設けている。

質問：令和6年度当初予算において、ユニバーサルデザイン化の考え方はどのような事業にどのような反映されているのか。

町長：令和6年度には役場本庁舎のトイレ改修事業を行い、どなたでも安全・安心に利用していただけよう手すりを設置する。また、斎場建設計画においては、実施設計の段階からユニバーサルデザイン化の考えを取り入れ、利用しやすい施設を整備する。これからもユニバーサルデザイン化に取り組んでいく。



公営塾の様子

すぎ やま ひろ みつ
杉山 広充
議員



三ツ星学園 入学式 三ツ星マン登場！

質問

本町公営塾において、中学生の通常利用を望む

答え

必要な予算や希望者の調査をし、今後検討する。

質問：中学生の通常利用について、委託業者と話し合い、良い方策を模索したのか。

を行い、長期休みの期間には、利用できることとしてしている。

教育長：公営塾については、全体の予算も限られており、現時点では、中学生3年生と高校生の希望者を対象としている。

質問：中学校に入学する1年生の時期は、特に、学習意欲が高まる。

公営塾が開始された当時の川高生は140人、現在は、100人程度である。今一度、業者と話し合い、中学1年・2年

公営塾が開始された当時の川高生は140人、現在は、100人程度である。今一度、業者と話し合い、中学1年・2年

生が、週に1回でも2回でも利用できるようにして欲しい。伺う。

教育長：どの程度予算が必要になるか、希望は、どの程度あるのか。

まず、ニーズ調査とか、具体的な確認をしながら、できればいいなと思う。今後の検討課題と思う。

質問

義務教育学校の教科指導についての配慮は

答え

講習等で免許取得教員は「教員の鑑」。支援する。

質問：義務教育学校における教科指導について、どのようなことに配慮していくのか。

にも示されている「思考力、判断力、表現力等の育成」を最重点として、学校運営がなされることを願う。教科指導において、小学校の教員が中学校で、中学校の教師が小学校で自由に指導することは法的にできません。

質問：学習指導要領総則

習等で取得したい教員が

出てきたら、全面的な支援を望む。伺う。

教育長：教員免許状の範囲内ではあるが、自由に小学校、中学校を行き来しながら指導を進めていくことは、有益と思う。

講習を受けた教員は、県が推奨する「教員の鑑」、応援できたらと思う。



なか はら
中原 緑
議員



本小児童による大鉄応援「青部駅フェス」
令和5年11月



再稼働が待ち遠しい千頭駅転車台（令和元年5月撮影）

質問 大鐵あり方検討会での今後の見通しは

答え 経費負担について国や県等と議論していく

質問：県議会において、河原崎県議の大鐵全線復旧の質問に対し、早期の運行再開に向けて前向きな取組をしていく旨の答弁があった。町はどう対応するのか。

町長：あり方検討会を通じて国、県、流域自治体等と全線復旧に取り組む。質問：地域における鉄道の役割、町の将来を見据えた取組を伺う。

町長：世界に誇れる鉄道。観光産業を中心に経済成長の牽引に不可欠である。質問：その取組を町観光協会等と一体となって、推進できないか。

経営戦略課長：昨年度から観光協会とイベントで連携し、実施している。質問：島田市、静岡市に協力・提携・連携をいつ申し入れるのか。

経営戦略課長：検討会において協議の方向性が示されてからになる。質問：民間、町、議会が三位一体となって取り組むことが必要。町は民間の活動に対し協力や支援をどう考えるか。

町長：支援する会の活動には心強く感じている。昨年は国や県への要望へ同行し、連携している。今後必要請には対応する。

質問：検討会構成員として、早期全線復旧に向けてどう対応しているのか。

副町長：流域市町、国、県、大鐵と連携し、しっかり議論して進めることを念頭に取り組んでいる。質問：復旧に向けて、町民に期待することは何か。

町長：原風景を取り戻すことを応援し、大鐵の赤字が復旧に影響していることを町民に理解していただきたい。

質問：クラウドファンディングの提案があったが、町長：民間鉄道を助けるには、クラファン以外にふるさと納税もある。

質問：早期復旧のため協力・応援したい町民の心をどう支え、リーダーシップを取っていくのか。

町長：皆さんの思いに委ね、今後も状況を見ながら進めていきたい。



義務教育学校スタート「三ツ星学園」

のぐち なおじ
野口 直次
議員



花の会によって整備されている田野口駅

質問

仮「大鐵全線復旧期成同盟会」早急に設立を

答え

関係機関と連携し会を作るか作らないか検討

質問：復旧に対する本質的な予算計上が見当たらない。町の考えを伺う。

考えるが、伺う。

町長：全線復旧に必要な町の負担については、持続可能なまちづくりを見据えながら、財源等を検討していく。

質問：当町が主体になって、協議会等設立の音頭を取っていただきたい、町の考えを伺う。

町長：あり方検討会の中で全線復旧に向け関係者と連携し取り組でいく。

町長：財政復旧に向けた経費負担は、大鐵及び各関係機関が協議している段階の為、関連する経費は計上していない。

質問：第3回大鐵あり方検討会には、町が提示できる金額等を示すべきと

で全線復旧に向け関係者と連携し取り組でいく。

質問：仮称「大井川鐵道全線復旧期成同盟会」早急に町に設立すること提案する。考えを伺う。

町長：財源がかかることの中において、国・県等と相談しながら、期成同盟会を作るか現状を見ながら進めていきたい。

質問

現在保護者が2校選択はできないが可能性は

答え

学区の選択制は必要が生じた時点で検討する

質問：町内の2つの義務教育学校が学校規模の違う中でスタートする、特徴ある学校づくりの教育方針を伺う。

町長：三ツ星学園は少人数の中でも、ある程度の児童・生徒数を確保できるので、個別最適な学びと協働的な学びの一体的推進を現在の規模で推進

を目指す。光の森学園については、さらに少人数を生かし、目の届きやすさを利点に、全職員が全児童・生徒を指導できる環境づくりや、子供主体の探求的かつ創造的な学びの実現を目指していく。

質問：町内に、一人でも子供たちが残ってほしい。保護者が2校のどちらかを自由に選択はできないと思われるが、町にとっても見直しを含め検討される課題と思うが伺う。

教育総務課長：規則改正により学区の方は定められることは可能です。学区の選択制については、必要が生じたらその時点で検討していきたいと考えている。

質問：町内に、一人でも子供たちが残ってほしい。保護者が2校のどちらかを自由に選択はできないと思われるが、町にとっても見直しを含め検討される課題と思うが伺う。

教育総務課長：規則改正により学区の方は定められることは可能です。学区の選択制については、必要が生じたらその時点で検討していきたいと考えている。



おお たけ かつ こ
大竹 勝子
議員



女性防災リーダー研修（令和6年1月36名が修了）



みどりの丘えまつ全景（下長尾）

質問 障がい者施設への支援の拡充を

答え 施設と情報を共有しながら支援していく。

質問：グループホームと

くやまは、開所から入所

者が一人で、1年半な

かったのはどうしてだっ

たのか。

健康福祉課長：その時点

では、入所の相談がな

かった。

質問：今後の見通しは。

健康福祉課長：現時点で

は、短期入所定員3名に

対して11名の登録がある。

質問：みどりの丘・えま

つに町から作業の発注は。

健康福祉課長：令和4年

度は雑巾を200枚ほど

購入している。また音戯

の郷の聴診器の消毒作業

を依頼している。

質問：町内企業に対して

利用促進の働きかけは。

健康福祉課長：指定管理

者の社会福祉協議会と相

談し、対応していく。

質問：古紙回収補助金が

中止になったが、利用者が

楽しみにしている収入源

なので、再開はできないか

くらし環境課長：町民の

廃棄物の再利用への意識

が定着されたことに伴い、

補助金制度を見直した。

質問 災害対策に女性の視点をいれるべきでは

答え 危機管理部門に女性を配置し対策を検討する

質問：能登半島地震の実

情を踏まえ、当町におい

て今回被災した地域と似

通った状況に陥る可能性

が高い。当町の防災対策

をどう強化し、見直す考

えか。

町長：まずは、救助が必

要で、命をつなぐ手段と

して自主防災会、消防団

を中心とする地域での安

否確認の方法を検討する。

質問：町全体が、孤立状

態になった場合の食料等

の対策は。

総務課長：各自主防災会

に3日分備蓄はあり、あ

とは、各家庭でお願いす

る。地形的要因を考えると、

道路の寸断が予想さ

れる。支援物資等をどう

運び入れるか課題となる。

危機管理課を設置し検討

する。

質問：各自治会組織に女

性防災リーダーをどのよ

うに入れていくつもりか。

総務課長：各自主防災会

に対して防災に携わる人

材として防災委員の女性

の登用をお願いしている。

※他に「大鐵運休につい

て」質問した。

令和5年12月議会

質問者 野口 直次議員
質問…骨髄バンクドナー
への医療費一部助成を

町長…ドナーへの医療費
一部助成については、次

年度、当初予算で措置を
考えている。

結果…令和6年度より

「骨髄等移植ドナー等支
援事業」を創設した。

対象者

・川根本町に住民登録が
あるドナー

・ドナー（個人事業主を
除く）が勤務する事業
主

助成額

・ドナー・2万円×骨髄
等の提供に要した通院
又は入院の日数（7日
間を上限）

・事業所・1万円×骨髄
等の提供に要した通院
又は入院の日数（7日
間を上限）

※詳細は、健康福祉課へ
相談してください。

皆さんの声を議会へ

◆行政・議会に思うこと

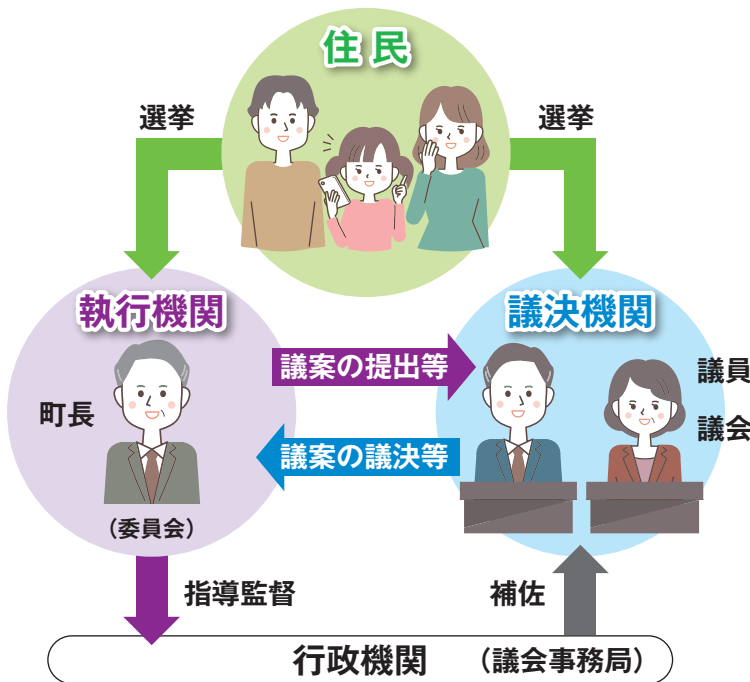
一町民

小さな町の小さな議会、
町民はどう感じているの
かな。町の行政執行担当
と、予算・決算・執行状
態を検証する議会との風
通しの悪い町と想ってい
るのではないかな。提出
された議案が、否決され
るのは、原因はどこにあ
るだろう。議員さんのア
ンテナ不足かな、執行担
当者の議会軽視によるも
のかな、深い審議をする
のには、情報が必要です。
政治は譲歩あって成り立
つものではないだろうか。
まずは町民の情報収集、
次に行政担当の情報収集
が必要ではないだろうか。
議員・執行担当の皆様の
活躍を応援いたします。

町議会の活動について

憲法93条は、住民によって直接選出される議員
によって構成される議会を議事機関として設置す
ること、地方公共団体の長も住民によって直接選
出されることを定めています。この形態を「二元
代表制」といいます。

町には、町としての意思を決める「議会」と議
会の決定に基づいて事業を執行する「町長」がい
ます。この関係は、「車の両輪」に例えられ、対等
な立場で議論を行いながら町政を運営しています。



※川根本町議会は、能登半島沖地震被災者支援のため石川県の特設口座へ義援金12万円を送りました。

6月定例会の日程

6/4日	火	定例会本会議（9時～） 全員協議会
11日	火	定例会本会議（9時～） 全員協議会
19日	水	定例会本会議（9時～）

〇どなたでも傍聴できます。

編集後記

久々に寸又峡プロム
ナードコースを写真を
撮りながら時間をかけ
歩いてみた。夢のつり
橋を渡ったあとの30
4段はきつかったけど、
今まで気づかなかった
タグガエルの鳴き声を
聞いている家族連れや
カップルが、興味深そ
うに見ている姿を見て、
「まだまだ観光資源が
あるなあ」と思い感
動した。 大竹勝子

広報委員会
委員長 中澤 莊也
副委員長 大竹 勝子
委員 杉山 広充
中 原 緑
佐々木直也